

## 県社保協 第5回（2023年7月）幹事会（報告）

日時：2023年7月12日【水】18：00～19：30

場所：鹿児島民商 会議室

参加：重満忍、橋元高博、福丸裕子（以上共同代表）

日高 光雄（事務局長） 山内 太志郎、池田 勝久（以上事務局次長）

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、（年金者組合）

行田 義仁、富島 隆治（以上幹事）

豎山 清隆、村上 洋平（以上監査）

### 【議題】

- 1、各団体活動報告（6～7月）及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画シンポジウムについて
- 4、いのちのとりで裁判支援について
- 5、水俣病被害者支援について
- 6、各分野別課題と今後の取り組みについて  
（国保、高齢者福祉・介護、障がい者（児）、子育て、年金、労働、生保など）
- 7、その他
  - 1）日程について
  - 2）その他

### 【事務局報告】

- 5月27日（土） 原水爆禁止国民平和大行進県実行委員会
- 5月28日（日） 水俣病総決起集会
- 5月29日（月） 医療者アクション打ち合わせ
- 6月01日（木） 川内原発20年延長を問う県民投票直接請求署名開始
- 6月03日（土） かがしま九条の会総会 日本平和大会県実行委員会立ち上げ
- 6月04日（日） 鹿児島を日米の軍事拠点にするな6・4集会
- 6月14日（水） 県母親大会実行委員会
- 6月23日（金） 日本平和大会県実行委員会事務局会議
- 6月26日（月） 原水爆禁止国民平和大行進 スタート ～7/10まで
- 7月04日（火） 日本平和大会県実行委員会

- 7月05日(水) 中央社保協全国総会
- 7月10日(月) 原水爆禁止国民平和大行進 熊本引継ぎ
- 7月11日(火) 医療者アクション打ち合わせ
- 7月12日(水) 県母親大会実行委員会

## 1、中央社保協報告について

### 1) 運営委員会報告

別紙参照

### 2) 全国総会

別紙参照

## 2、各団体活動報告

生健会・・・

民医連・・・

県商連・・・国保の減免やインボイスへの対応について報告がありました。

保険医協会・・・マイナ保険証のトラブルアンケートを行った。鹿児島でも4割で「トラブルあり」となった。

県労連・・・最賃の論議が始まった。事務局長退職に伴う対応を進めている。

医労連・・・平和行進が無事終わった。看護労働実態調査について、秋に記者会見を予定している。

自治労連・・・

年金者組合・・・

民青同盟・・・

共産党・・・6月議会の報告があった。子ども医療費無償化に向けた動きについて報告があった。

新婦人・・・原水爆禁止国民平和大行進に向けてペナント作成に取り組んだ。県民投票を求める活動では、宣伝行動を2回行った。受任者は約100名。生理の貧困問題で配置状況の調査を行っている。

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・

## 3、第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画シンポジウムについて

論議できず

## 4、いのちのとりで裁判支援について

- 1) 7月24日(月)14:00～が最終弁論で結審となります。
- 2) 最大限の傍聴をお願いします。

## 5、水俣病被害者支援について

### 1) 宣伝行動について

日時：7月14日（金）

12：30～13：30 宣伝行動 天文館

14：15～15：30 打ち合わせ 鴨池公民館第2研

打ち合わせに参加できない団体へは、改めて患者会がオルグにまわる予定です。

### 2) ミナマタ現地調査 **別紙参照**

#### ①日時・会場

8月19日（土）12：00～ 水俣協立病院裏集合 海上視察 定員46名

20日（日）10：00～12：00 つなぎ文化センター 結審前集会

#### ②参加申し込み

チラシのQRコードから各自お申し込みください。

宿泊を希望される方は、日高までご連絡ください。熊本が事前にホテルを確保しています。鹿児島県の支援団体分をまとめて予約します。

出水駅前のロイヤルと川端通近くのキング

バーベキューは水俣駅近く 2次会はホテルキングビアガーデン

#### ③交通手段について

各自手配してください。

自家用車の乗り合わせで良い方は「日高」まで。

#### ④参加目標

社保協関係で20名以上の参加をお願いします。

民医連5名（学生含む） 県労連3名 医労連2名 自治労連2名 民商1名

共産党（議員含む）2名 市民の会1名 民青1名 新婦人1名 保険医協会1名

### 3) 結審日集会・傍聴・報告会

#### ①集会 9月8日（金）13：15～ 熊本地裁前

鹿児島県の支援団体へも参加要請がありました。

各支援団体で、代表派遣の調整をお願いします。

#### ②傍聴

傍聴希望者は、日高まで連絡をください。

#### ③報告会

裁判終了後、報告会が予定されています。

## 6、各分野別課題と今後の取り組みについて

### 1) 九条医療者の会かごしま 総会 **別紙参照**

7月30日（日）14：00～

よかセンター 8階ホール

- 1) 鹿児島県母親大会 **別紙参照**  
7月23日(日) 10:00~16:00  
中央公民館 リアル形式  
午前:分科会 午後:全体会
- 2) 中央社保学校 **別紙参照**  
9月16日(土)~17日(日)  
岡山市 ハイブリッド形式
- 3) 第34回九州セミナー in 宮崎 **別紙参照**  
11月18日(土)~19日(日)  
宮崎市 リアル参加
- 4) 2023年日本平和大会 in 鹿児島に向けて **別紙参照**  
11月11日(土)~12日(日)  
鹿児島市 宝山ホール 鹿児島県の参加者はリアル参加
- 5) 日本母親大会 **別紙参照**  
11月25日(土)~26日(日)  
山口市 ハイブリッド形式

## 7、その他

- 1) 今後の日程  
過労死シンポジウムを11月22日(水) 午後に開催予定

次回幹事会日程(案) 8月17日(木) 18:00~

## 県社保協 第6回(2023年8月)幹事会(報告)

日時：2023年8月17日【木】18:00~20:00

場所：鹿児島民商 会議室

参加：重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長) 山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、(年金者組合)

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

豎山 清隆、村上 洋平(以上監査)

### 【議題】

- 1、各団体活動報告(7~8月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画シンポジウムについて
- 4、2023年「介護・認知症なんでも無料電話相談」について
- 5、健康保険証の存続を求める運動について
- 6、いのちのとりで裁判支援について
- 7、水俣病被害者支援について
- 8、各分野別課題と今後の取り組みについて
- 9、その他
  - 1) 日程について
  - 2) その他

### 【事務局報告】

- 7月14日(金) 水俣病被害者支援宣伝行動 平和行進実行委員会  
7月23日(日) 鹿児島県母親大会  
7月24日(月) いのちのとりで裁判期日  
7月30日(日) 九条医療者の会記念講演・総会  
7月31日(月) 医療者アクション打ち合わせ  
8月01日(火) 日本平和大会県実行委員会  
8月02日(水) 中央社保協運営委員会  
8月06日(日) 原水爆禁止世界大会 ヒロシマデー 6・9行動  
8月08日(火) 原水爆禁止世界大会ナガサキデー



- 8月10日(木) 日本平和大会県実行委員会事務局会議  
8月11日(金) 医療者アクション宣伝行動 シール投票

## 1、中央社保協報告について

### 1) 運営委員会報告

別紙参照

### 2) 国保改善運動学習交流集会

7月16日(日) 開催

動画視聴⇒ <https://shahokyo.jp/20230716-3/>

### 3) 隔月刊「社会保障」秋号 別紙参照

憲法から考える社会保障の購読と活用をお願いします。

## 2、各団体活動報告

生健会・・・会員が増えない 物価高の中で保護基準を引き上げて欲しい

7月に中央交渉を行った 電気代の補助など低所得者対策が必要

民医連・・・

県商連・・・例年より多く税務調査が入っている

保険医協会・・・保険証の存続を求める署名に取り組んでいる 来年の診療報酬  
改定に向けた対応を進めている

県労連・・・最賃引き上げに向けた行動を行った 今回の改定は44円引き上げで  
897円となる

医労連・・・

自治労連・・・日置市に新たな単組(会計年度任用職員)が誕生した 麦の芽で  
は9/1に地労委によるあっせんが予定されている

年金者組合・・・

民青同盟・・・

共産党・・・

新婦人・・・

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・市営住宅の駐車場代(2000円)問題で署名に取り組  
んでいる

## 3、第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画シンポジウムについて

豎山監査(市民の市政をつくる会)より提案があり、内容について意見交換を行った。  
来週の市民の会幹事会でも協議し、次回幹事会で改めて協議することにした。

#### 4、2023年「介護・認知症なんでも無料電話相談」について

##### 1) 日時

11月11日(土) 10:00~18:00

- ##### 2) 同日、日本平和大会が鹿児島で開催されるため、社保協に関わる団体の多くが、そちらに要員として参加することが予想されるため、今年の開催は見送ることにします。

#### 5、健康保険証の存続を求める運動について **別紙参照**

**各市町村へ「意見書採択」を求める陳情を行うことを確認した。具体的な進め方や内容については、次回幹事会で協議することにした。**

##### 1) 署名・宣伝行動について

8月11日に医療者アクションで宣伝行動(シール投票)を行いました。

国民世論を喚起するためにも、定期的な宣伝行動ができないか?

##### 2) 意見書採択運動について

解散総選挙の時期や国民世論の盛り上がりを見極めながら、意見書採択運動に取り組んでみたらいかがでしょうか。総選挙となれば、保険証廃止問題は大きな争点となります。

##### 3) 各団体の今後の取り組み予定について

#### 6、いのちのとりで裁判支援について

**宣伝行動等の日程については、次回幹事会で協議することにした。**

- ##### 1) 7月24日(月)に最終弁論が行われ結審となり、判決は2024年1月15日(月) 15:00となりました。

- ##### 2) ただ、判決を待つのではなく、県民世論を喚起するような活動が、この半年で必要ではないでしょうか。生活保護に対しては、偏見を持つ県民も多く、また、25条の理念(権利としての社会保障制度)が政府により捻じ曲げられてきたこともあって、低賃金労働者と生活保護受給者を対立させながら、賃金も社会保障給付も切り下げようとしています。

- ##### 3) この裁判は、憲法25条の理念を問う裁判であり、原告だけではなく全国民のいのちと生活は誰が守るのが問われる裁判です。まさに全国民の「命の砦」である憲法25条を守る裁判です。

#### 7、水俣病被害者支援について

##### 1) ミナマタ現地調査

###### ①日時・会場

8月19日(土) 12:00~ 水俣協立病院裏集合 海上視察 定員46名

20日(日) 10:00~12:00 つなぎ文化センター 結審前集会

②参加（社保協加盟団体分）

山内（県商連）日高・川添直人・山下義仁（民医連）福留三咲（鹿児島大学3年）  
池田（医労連）

2) 結審日集会・傍聴・報告会

①集会 9月8日（金）13:15～ 熊本地裁前

鹿児島の支援団体へも参加要請がありました。  
各支援団体で、代表派遣の調整をお願いします。

②傍聴

傍聴希望者は、日高まで連絡をください。

③報告会

裁判終了後、報告会が予定されています。

8、各分野別課題と今後の取り組みについて

1) 憲法壊すな・戦争法廃止！かごしまの会 連続講座 第1回 **別紙参照**

半田滋講演会

9月2日（土）14:00～

川商ホール第2（市民文化ホール）

2) 中央社保学校 **別紙参照**

9月16日（土）～17日（日）

岡山市 ハイブリッド形式

3) 第21回全国介護学習交流集会 **別紙参照**

10月9日（月 祝）13:30～16:30

全労連会館2階ホール&オンライン

4) 10・19 総行動 **別紙参照**

10月19日（木）13:00～14:40

日比谷野外音楽堂&オンライン

5) 2023年日本平和大会 in 鹿児島に向けて **別紙参照**

11月11日（土）～12日（日）

鹿児島市 宝山ホール 鹿児島県の参加者はリアル参加

6) 第34回九州セミナー in 宮崎 **別紙参照**

11月18日（土）～19日（日）

宮崎市 リアル参加

7) 日本母親大会 **別紙参照**

11月25日（土）～26日（日）

山口市 ハイブリッド形式



## 7、その他

- 1) 障害福祉サービス等報酬の改善を求める要望書について **別紙参照**  
中央社保協を通じて、福祉保育労の要望書への協力依頼がありました。ご検討をお願いいたします。
- 2) 今後の日程

次回幹事会日程 9月26日(火) 18:00～

**原水爆禁止 国民平和と大行進**  
**鹿児島本土コースがスタート 7月10日まで**

本日（6月26日）、2023年原水爆禁止国民平和と大行進の出発集会在、鹿児島市のみなと大通り公園（鹿児島市役所前）で行われ、約100人が参加しました。

2020年以降、感染予防対策の観点から、沿道歩くことを自粛してきましたが、今年はコロナ感染が類下げしたこともあり、ほぼすべてのコースで行進を行う予定です。職員の皆さんも、是非、

出発集会では、核兵器のない平和で公正な世界を目指して歩こう、と呼びかけられ、参加者は、市役所前やいづろ交差点でスタンディング宣伝を行いながら、鹿児島中央駅まで行進しました。

絶を訴えましょう。



**今後の平和行進の予定(集合場所・集合時間)**

6月27日(火)	10:00	谷山中央第一公園
6月28日(水)	09:00	指宿市役所 13:15 枕崎市役所
6月29日(木)	09:00	南九州市豊玉姫神社 10:30 南さつま市役所
	12:45	川辺生協病院
6月30日(金)	09:00	垂水市役所 10:40 鹿屋市リナシティ
	13:00	串良郵便局
7月03日(月)	09:30	大崎町役場 10:40 志布志駅前
	13:00	曾於市マックスバリュ一前
7月04日(火)	09:30	霧島市国分運動公園 11:20 始良市加治木庁舎
	13:30	湧水町役場 14:30 伊佐市役所
7月05日(水)	10:00	日置市役所 13:00 いちき串木野市役所
7月06日(木)	10:00	薩摩川内市役所 13:30 さつま町役場
7月07日(金)	10:00	阿久根市役所 13:15 長島町
7月10日(月)	10:15	出水駅東口 14:00 熊本県への引継ぎ集会(県境にて)





**川内原発の20年運転延長問題は  
県民の総意で決めよう 署名にご協力を**

川内原発の20年運転延長の是非を問う県民投票条例の制定に向けて、現在直接請求署名が取り組まれています。

鹿児島民医連では、職員全員が署名収集者となり、ひとり5筆以上を集めようと提起しています。皆さんのご協力をお願いします。

今回の署名は、川内原発の運転延長の是非を問うものではなく、あくまで、延長するか否かを、県民投票を実施して決めて欲しい、と求めているもので、署名が既定の数（有権者の50分の1）集まれば、県知事に対して、県民投票条例をつくるよう求めることができます。

老朽化した川内原発を、今後も動かし続けるのか、それとも廃炉にするのか、県民の総意で決めて欲しいと求めています。県民投票が実施されれば、少なくとも、自分の意

見を投票で表すことができます。

職員の皆さん

署名簿は手元に届きましたでしょうか。もし届いていない方がいたら、県連までご連絡ください。

今回の署名は、県知事に直接条例制定を求める署名のため、多少、他の署名とルールが異なります。詳しくは、以下をご参照ください。

また、今回の署名は、川内原発20年延長を問う県民投票の会が進めている署名です。インターネットから「県民投票の会」で検索するとホームページが閲覧できます。ニュースなど各地での取り組み等も掲載されていますので、ぜひご覧ください。

それでは、残り1カ月を切りました。大いに広げ、県民投票を実現させましょう。

**【署名簿を受け取ったら】**

1、署名簿を受け取ったら、まず、署名簿に以下を記入しましょう。

- ①表紙の署名収集者氏名欄に自分の氏名を記入する。
  - ②収集委任状欄に、住所・氏名・生年月日・性別を記入する。その横の日付は、署名簿を受け取った日を記入する。
  - ③署名欄の一番上に、署名した日、自分の住所、生年月日、氏名を記入する。
- \*上記はすべて自署をお願いします。上記以外の欄は記入しないでください。

2、これで事前準備は終わりです。

3、自分以外の署名は、2段目から詰めて記入してください。

- ①間違った場合は、2重線で消して、次の段に記入してください。
- ②障がい等で自署できない方は代筆が可能ですが、署名収集者は、代筆できませんので、他の有権者をお願いしてください。

**【署名の集め方について】**

1、集める際の注意点

- ①署名は対面で書いてもらいましょう。郵送してお願いしたり、他人に渡してお願いすることはできません。
- ②署名をお願いできる人は、自分の住んでいる市町村の方のみです。他の市町村の方の署名は無効となります。また、署名できる人は、有権者（18歳以上）に限られます。

2、まずは、同居家族や親せき（父母など）、ご友人など身近な方をお願いしてください。また、事業所を利用されている患者や利用者、業者などをお願いしてください。

3、集約は7月20日（木）を予定しています。ひとり5筆以上は頑張ってください。

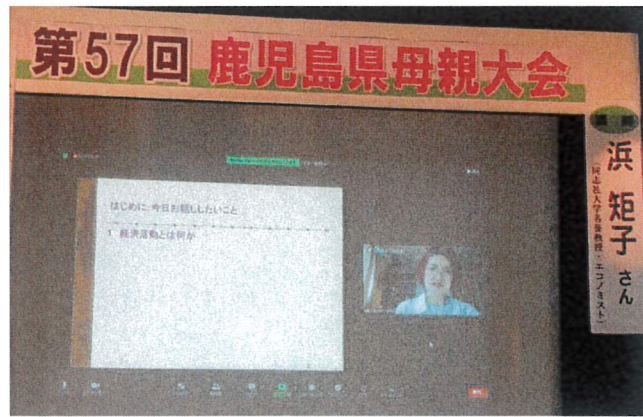
**【集まった署名について】**

1、集めた署名は、7月20日（木）までに、各部門責任者又は各事業所責任者に渡してください。





**第57回鹿児島県母親大会に160名が参加**



去る7月23日、鹿児島市の中央公民館で、第57回鹿児島県母親大会（実行委員会に、鹿児島医療生協や県民医連が参加）が開催され、県内各地からオンライン参加も含め約160名が参加し、学習と交流を行いました。

午前中は、4つの分科会（①平和・基地問題 ②暮らし・社保問題 ③教育・子育て問題 ④うたごえ）に分かれて交流を行い、暮らし・社保問題の分科会では、鹿児島

医療生協労組の村上さん（社会福祉士）が、事例を交えながら、介護保険制度の問題点や、様々な対処方法等についてお話しされ、参加者の質問にも丁寧に応えるなど、非常に好評でした。また、鹿児島医療生協の片平さん（健まち部）からは、鹿児島医療生協が行っている「おたがいさま活動」についても紹介していただきました。

午後は、合唱団「風」によるオープニングが始まり、開会宣言の後、記念講演が行われました。

記念講演では、浜矩子さん（同志社大学名誉教授・エコノミスト）が、「大軍拡に向かう政治から我々の経済社会と人権をどう守り抜くか、今こそ日本国憲法が輝く時」と題してお話されました。

経済活動に携わる生き物は人間だけ、経済活動は他者の喜びを喜び、他者の悲しみを悲しむ人々の営みで、経済活動は人間を不幸してはならない、と強調されていました。そして、憲法前文が、今のグローバル時代の生き方を示しているとしながら、その憲法を破壊しようとしている岸田首相を「鮒侍男」と称して、優柔不断さを、バツサリ切ってくださいました。

その後、閉会集会で、大会宣言案を参加者全員で確認して終了しました。

**九条医療者の会かごしま総会・記念講演**

日時 7月30日（日）13：30開場 14：00開会  
会場 よかセンター多目的ホール（鹿児島中央駅前イオン8階）  
入場料 500円（オンラインは無料）



QRコード

**【記念講演】**

「安保三文書の時代を、日本の安全保障観から考える」

講師 加藤陽子さん（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

\* オンライン参加を希望する方は、右上のQRコードからお申し込みください。



生活保護引き下げ訴訟(いのちのとりで裁判)が結審 1月15日判決

去る 7 月 24 日、2015 年 12 月に鹿児島地裁に提訴していた生活保護引き下げ訴訟(いのちのとりで裁判)が結審しました。この裁判は、国が、2013 年 4 月から 3 年間かけて、生活扶助基準(生活保護基準のうち生活費部分)を平均 6.5%、最大 10%(年間削減額 670 億円)引き下げたことが違憲・違法であると争っています。生活保護基準は厚生労働大臣が定めるものとされています

が、これが裁量の範囲を超えているとして、切り下げの取り消しを求めています。最終弁論で原告側代理人の弁護士は、国は、670 億円の削減のうち 580 億円は「デフレ調整」によるものと主張しています。これは 2008 年から 2011 年にかけて「物価」が 4.78%下落したのに合わせて生活扶助基準を下げたとしているが、これは生活保護基準部会の検証を一切経ず、厚生労働省が独断で「生活

扶助相当 CPI (消費者物価指数) という全く独自の計算方式をつくりだして行ったもので、手続も内容も全く意味のないものだと言張りました。そもそも、憲法 13 条が示す「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」とあり、この国民の権利を守るため、第 25 条は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と国の責務を定めています。この裁判の判決次第では、まさに基本的人権の根幹が揺るぎかねないことになりま

す。皆さん、見守っていきましょう。



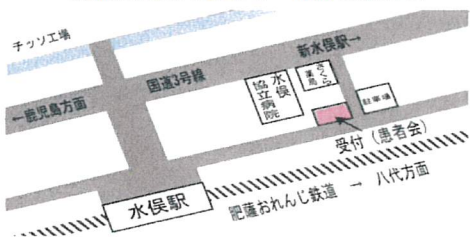
上 裁判所前で原告らが公正判決を求めて行進  
下 裁判後、報告する弁護団

第 40 回 ミナマタ現地調査

2023 年 8 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日)

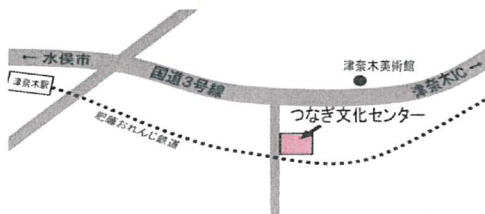
19 日 (土) 海上視察

12:00 受付 (患者会事務所下) → 13:00 開会  
→ 13:10 移動 → 13:30 海上視察  
→ 16:30 患者会着 → 17:00 BBQ 交流会  
【受付】不知火患者会事務所下 (水俣市桜井町 2-2-20)  
※新水俣駅からタクシーで約 1,500 円



20 日 (日) 熊本訴訟結審前集會

9:00 受付 → 10:00 開会 → 弁護団報告 → 近畿・東京・新潟からの報告 → 被害訴え → 行動提起 → 支援団体連帯あいさつ → 12:00 ころ開会  
【会場】つなぎ文化センター  
熊本県葦北郡津奈木町大字岩城 1588-2  
※新水俣駅からタクシーで約 1,500 円



参加希望者は、上の QR コードからお申し込みください。





↑ 8/3 KYT ニュースより

↓ 署名集約の様子 市町村毎に仕分けし箱詰め



**各法人の署名集約数（最終）**

鹿児島医療生協 2,676 筆 奄美医療生協 400 筆  
 メディコープ 91 筆 県連事務局 83 筆  
 合計 3,250 筆

川内原発の 20 年運転延長を問う県民投票条例制定請求署名  
 集約段階で規定数を上回りました ご協力ありがとうございました

今年 6 月 1 日からはじまった「川内原発の 20 年運転延長を問う県民投票条例制定請求署名」へのご協力ありがとうございました。職員の皆様のご協力もあり、県全体で直接請求に必要な署名数（有権者の 50 分の 1 以上 約 3 万筆）を超える署名が集まり、現在、各市町村の選管に提出する準備が進められています。

今回の署名は、川内原発の 20 年運転延長の是非を問うものではなく、あくまで延長するかどうかを県民の意見を聞いて判断して欲しいと、県知事に「県民投票」実施を求めるものでした。これで、第 1 段階はクリアしたことになりましたが、たたかいはこれからが正念場です。まずは、県知事が県民投票条例案を県議会に提出することに

なりますが、これを県議会が採択する必要があります。県議会は、原発推進を掲げる自民党が 3 分の 2 以上を占めており、ここを突破しなくてはなりません。県議会議員一人ひとりが、県民の立場に立って判断するか、それとも県民に背を向け、党や支援団体の利益を最優先するのかが問われます。引き続き皆さんのご協力をお願いします

**九条改憲ストップ！医療者アクション 8・11 街頭宣伝行動**

日時 8 月 11 日(金 祝日) 12:00~13:00

場所 天文館アーケード(献血ルーム天文館前)

九条改憲ストップ！医療者アクションは、九条医療者の会、保険医協会、医労連、民医連の 4 団体で構成し、年数回、宣伝行動や講演会などに取り組んでいます。

今回は、健康保険証の廃止について、シール投票を通じて県民の皆さんの意見を伺うことにしています。



**マイナ保険証の賛否を問う街角シール投票**  
**九条改憲ストップ！医療者アクションが宣伝行動**

去る 8 月 11 日、県民医連も参加する「九条改憲ストップ 医療者アクション」が、天文館アーケードで、マイナ保険証の賛否を問うシール投票と宣伝行動を行いました。マイナバーカードを巡っては、全国で他人の情報が紐づけられていたなどのトラブルが報告されていて、一部で運用への不安が高まっています。



今回のシール投票では、

- ① マイナバーカードと個人情報（病歴・受診歴・検査データなど）を紐づけることに **賛成 5 反対 32**
- ② 来年秋に予定されている健康保険証の廃止について **賛成 6 延期すべき 3 反対 25**と

健康保険証の廃止やマイナカードへの一本化に対し、不安の声が多く寄せられました。鹿児島民医連でも、8 月から、「現行の健康保険証を残してください」署名を開始する予定です。大いに宣伝し、世論の力で保険証廃止をストップさせましょう。



憲法壊すな 戦争法廃止！かこしまの会講演会

**安保3文書の改定と鹿児島(仮題)**

日時 **9月2日(土)**13:15 開場 14:00 開演

会場 **川商ホール第2(市民文化ホール)**

参加費 400 円(資料代)

講師 **半田 滋さん(防衛ジャーナリスト)**





憲法壊すな・戦争法廃止！かごしまの会 半田滋講演会

# 岸田政権が進める「大軍拡・増税」政策を学ぶ

去る 9 月 2 日、鹿児島市の川商ホール（市民文化ホール）第 2 で、憲法壊すな 戦争法廃止！かごしまの会（鹿児島民医連が事務局）主催で「半田滋講演会」が行われ、県内各地から 200 名が参加し、岸田政権が進める敵基地能力の保有や軍事費 2 倍化などの大軍拡と、増税政策について学びました。

特にここ鹿児島では、今年から本格的に馬毛島基地の建設が始まり、昨年から海自鹿屋基地へ米無人機が配備されるなど、日米の軍事基地（拠点）化が急速に進んでいます。また、奄美を含む南西諸島では、台湾有事を想定した日米共同訓練が繰り返行われており、奄美、与那国、宮古、石垣などには、長射程のスタンダードオフミサイルの配備も計画されています。

半田氏は、政府がこのように「敵基地攻撃能力の保有」などで抑止を高めることが、むしろ東アジアの不安定化を呼び込むと指摘。



平和は軍事力ではなく、命がけの外交によってはじめて実現すると。また、台湾有事の戦場は、日本と台湾であり、米国や中国ではない。「敵基地攻撃能力」を持ち、対米支援するのは自滅を選ぶのに等しいとも。

また、財源問題では、「防衛力の抜本的な強化」には予算の裏付けが不可欠。5 年後不足する 4 兆円のうち 1 兆円は増税、わたしたちは重い負担を引き受

ける軍事力強化を望むのかと指摘し、望まないのであれば、その意思を選挙で示すしかないといも。

いずれにしても、今の大軍拡路線は私たちのいのちと暮らしにとって重大な問題です。私たちひとりひとりが、学び、伝え、行動することが重要なのでしよう。

9 月 19 日は、8 年前、憲法違反の戦争法が強行採決された日です。この日から戦争する国づくりが始まりました。

皆さん、大いに行動しましょう。



**10・19 総行動**

医療・介護・福祉に 国の予算を増やせ!

2023年

# 10.19

**日比谷野外音楽堂**

東京都千代田区日比谷公園 TEL03-3591-6388

主催 **23年「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ！10・19のちまもる総行動」実行委員会**

主幹 全国保健福祉団体連合会（保連連）／全日本医師会（医師会）／全日本看護協会（看護連）／日本医師会（医師会）／日本看護協会（看護連）／日本歯科医師会（歯医連）／全国大学歯科医師会（歯大連）／日本社会福祉協議会（社福連）／日本社会福祉協議会（社福連）／日本社会福祉協議会（社福連）

連絡先 **日本医療労働組合連合会** TEL03-3875-6871 http://www.jouen.or.jp/

**10・19 総行動**

医療・介護・福祉に 国の予算を増やせ!

**いのちまもる**

タイムテーブル

13:00 主催者挨拶  
開会・主催者挨拶  
文化企画  
国会議員挨拶  
各分野リレートーク

14:15 集会決議  
シュプレヒコール

14:40 パレード開始

ゲスト **ザ・ニューズペーパー 福外編**

山本天心（18分） 佐野ひろし（18分）